



## 事業協力機関

福島県県南地方振興局、福島県県南教育事務所、福島県県南農林事務所、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、棚倉町教育委員会、矢祭町教育委員会、塙町教育委員会、鮫川村教育委員会、塙町立塙小学校、塙町立塙中学校、鮫川村立鮫川中学校、福島県立修明高等学校、福島県立塙工業高等学校、社団法人東白川医師会、福島県学校保健会東白川支部養護教諭研究会、東白川郡PTA連合協議会、棚倉町地域包括支援センター、矢祭町保健推進委員会、福島県青少年育成県民会議、福島県学校保健会西白河支部養護教諭研究会、白河市、福島県男女共同参画審議会、東白川地方公民館連絡協議会、鮫川村老人クラブ連合会、棚倉町食生活改善推進委員会、鮫川村食生活改善推進委員会、棚倉町クロリティーアーク、東白川地域自立支援協議会、NPO法人ウッドビアはなわ、社会福祉法人鮫川福祉会・鮫川たんぽぽの家、特定非営利活動法人レスボアールやまつり、特定非営利活動法人かがやき、社会福祉法人牧人会はなわ育成園、福島県社会福祉事業団県南障がい者就業・生活支援センターまごころステーション、福島県立医科大学医療人育成・支援センター、福島県厚生農業組合連合会白河厚生総合病院、医療法人金澤医院、鮫川村国民健康保険診療所、福島県太陽の国病院、介護老人保健施設久慈の郷、社会福祉法人矢祭福祉会特別養護老人ホームユアアイホーム、社会福祉法人福島県社会福祉事業団、特別養護老人ホーム福島県やまぶき荘、鮫川村富田行政区、鮫川村富田老友会、吉田富三記念館、湯遊ランドはなわ、東館温泉ユーパル矢祭、ルネサンス棚倉、ホテル＆コテージ白河閣の里、山王の里、道の駅はなわ天領の郷、東白川郡の皆様（順序不同）



21 思春期保健リーフレット  
(平成22年2月22日更新)



22 事業実績集  
(平成22年12月14日更新)



23 事業実績集  
(平成24年1月19日更新)

詳細は県南保健福祉事務所ホームページ更新履歴よりご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.jp/kennanhofuku/00top/rireki.html>

福島県過疎・中山間地域連携事業

“ひがししらかわ”元気づくり支援事業（県南地方会議）

## 「いのちの学校」体験事業

（平成21年度～平成23年度）



★「ひがししらかわ」  
棚倉町、矢祭町、塙町、  
鮫川村の東白川郡の  
4町村の総称です。



福島県 県南保健福祉事務所  
総務企画部 総務企画課

電話番号 0248-22-5441

FAX 0248-22-5451

[kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.jp](mailto:kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.jp)

福島県県南保健福祉事務所

# 「いのちの学校」体験事業

目的：若年層の減少と高齢化の進行などによる厳しい現状において健全な地域活動・集落機能を維持していくため、地域の未来を担う住民を対象に、学校保健と地域保健などの関係機関が連携して、集落単位での自主的活動や、思春期保健対策の充実に向けた取り組みを進め、「いのちの大切さ」を育み、安心して暮らせる「ひがしらかわ」づくりのための事業を実施しました。

平成21年度

平成22年度

平成23年度

## ☆ひがしらかわ健康なまちづくり推進会議☆

「いのちの学校」体験事業を効果的かつ円滑に実施するため、東白川郡4町村の枠を越えた広域的連携体制を構築し、地域保健の連携による次世代育成を図り、健康課題及び地域保健に関する情報交換の促進などを目的として設置しました。

構成員：東白川医師会、学校保健会東白川支部、東白川郡PTA連合協議会、東白川郡障がい者施設職員、東白川郡老人クラブ、東白川郡地域包括支援センター職員、東白川郡保健推進員、東白川郡管内各町村の保健担当職員、

県南教育事務所生涯学習担当職員、県南保健福祉事務所職員

平成21年度 第1回 平成21年 9月 1日、第2回 平成22年 1月26日

平成22年度 第1回 平成22年 6月15日、第2回 平成22年12月14日

平成23年度 第1回 平成23年 6月14日、第2回 平成24年 2月 7日



## ☆妊婦体験・保育体験☆

思春期の高校生に妊婦・保育の疑似体験を通して、「いのちの大切さ」を育み、自尊感情を育成するために実施しました。

日 時 平成21年9月25日

場 所 壇工業高等学校

参加者 第1学年75名



## ☆いのちの大切さを育むための研修会☆

学校保健と地域（集落）保健の連携体制を構築するために、関係者等集めて研修会を開催しました。

日 時 平成21年12月9日

場 所 壇中学校



内 容 I部：思春期保健公開授業（3年1組）

II部：講演「親子のコミュニケーションづくり」

参加者 東白川郡内町村の思春期保健担当職員、

小中高校の養護教諭、小中高校のPTA等（42名）

## ☆思春期保健リーフレット作成及び配付☆

次代を担う子どもたちや保護者への正しい知識や情報を提供するため、中学生・高校生用と保護者用の2種類のリーフレットを作成し、配付しました。

作成にあたり思春期保健リーフレット検討会を設置した。全体監修を福島県男女共同参画審議会委員である西口クリニック婦人科（福島市）の野口まゆみ院長に依頼しました。

配付時期 平成22年1月下旬～2月上旬

配 付 先 県南地方管内中学校、高校

印刷部数 中学生・高校生用と保護者用の2種類

各7,600部



## ☆小・中・高校生と高齢者のふれあい体験☆

小・中・高校生が高齢者と交流することで、高齢者から次世代（小・中・高校生）へ郷土文化を伝承し、「いのちの大切さ」や「自分が生まれ育った地域を大切にする心」について学習するために実施しました。

①棚倉町・鮫川村の合同開催

日 時 平成22年9月5日

場 所 棚倉町保健福祉センター

参加者 東白川郡内の小・中学生（32名）

修明高等学校ボランティア（13名）

棚倉町・鮫川村の高齢者（125名）

内 容 （1）クロリティー交流

（2）郷土料理試食会

②「2010 夏休み森林教室 in 矢祭町」共催

日 時 平成22年8月4日

場 所 矢祭町館山ふれあいランド

参加者 東白川郡内の小学生（134名）

高校生ボランティア（3名）

矢祭町の高齢者（竹工作指導者：9名）

内 容 （1）竹工作 （2）ふれあい交流



## ☆ひがしらかわ“次世代交流”ふれあい体験☆

地域の次世代（小学生・中学生・高校生）が地域施設の障がい者との関わりや交流を通して「障がい」を一つの人間の個性と受けとめさせてることで将来の地域の担い手である次世代が「いのちの大切さ」を学び、「人に対する愛情」と「人権を尊重できる心」を養うために実施しました。

①小学生と障がい者のふれあい体験：平成23年5月26日、9月8日

場 所 壇小学校、ウッドピアはなわ（障がい福祉サービス事業所）

参加者 壇小学校4年生（42名）、施設利用者（17名）



内 容 （1）「障がい」についてのガイダンス

（2）彼岸花工作での交流

②中学生と障がい者のふれあい体験：平成23年6月17日、7月6日、9月13日～14日

場 所 鮫川中学校、鮫川たんぽぽの家（障がい福祉サービス事業所）

参加者 鮫川中学校3年生（28名）、施設利用者（26名）



内 容 （1）「障がい」についてのガイダンス

（2）商品包装体験、共同作業

③高校生と障がい者のふれあい体験「東白川あったか冬まつり」共催：平成23年12月3日

場 所 道の駅はなわ天領の郷

参加者 壇工業高等学校生（27名）



東白川地域の障がい福祉サービス事業所利用者（39名）

内 容 （1）ふれあい交流（2）部活動単位の出演

## ☆地域医療体験研修事業☆

地域医療に関心を持つ全国の医学部学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、

東白川地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的として実施しました。（定員：夏期10名、冬期5名）

研修内容 （1）地域医療現場の視察：東白川地域等の診療現場を視察する。

（2）地域医療に従事する医師との懇談会：地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

（3）地域住民との交流：地域住民との交流を通じ、地域の実情について理解を深める。

研修場所：東白川郡矢祭町、壇町、鮫川村等の医療施設や特別養護老人ホームなど

平成22年度 夏期研修 平成22年8月27日（金）～8月29日（日）参加者8名

冬期研修 平成23年3月 8日（火）～3月 9日（水）参加者6名

平成23年度 夏期研修 平成23年8月 9日（火）～8月11日（木）参加者4名

冬期研修 平成24年2月28日（火）～2月29日（水）参加者3名

大学名	参加者数	学年（参加時）						性別
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
福島県立医科大学	9	1	1	1	3	3	5	4
獨協医科大学	4		3	1			2	2
帝京大学	3		2	1			3	
山形大学	1	1					1	
東北大	1	1				1		1
東京大学	1					1	1	
群馬大学	1		1			1		
（人）	21	3	7	4	3	3	1	14
出島	福島	東京	山形	茨城	栃木	埼玉	神奈川	大阪
県南	8	3	1	1	2	1	1	1